



おひざのうえで

(副園長の子育ておうえん通信)(2021年10月)



せんりひじり幼稚園
副園長 安達かえで

「 プロセスでの育ち 」

15日はいよいよ運動会です。今年も学年ごとに開催になり、ゆったり見ていただける良さがありますが、年少・年中・年長と、どのように育っていくのかを見ていただけないことは残念です。

運動会という行事は、どこの園もあると思いますが、園によって内容は様々です。せんりひじりでは以下のような子どもの育ちを大切にそれぞれの学年の内容を考えています。

特に3歳4歳5歳の育ちの道筋を考え、幼児期の終わりまでに育てたい姿を見通しています。

年少組は、運動会と言っても生活の延長上にあるようなイメージです。かけっこは、ゴールで手を広げて待つ先生のところまで、「よーいどん」の笛の合図で走っていきます。「負けずに走りたい」という競争心よりも「いっしょにはしろう〜」「先生のところまでいきたい」の気持ちの方が強いのが3歳児の特徴です。横の友達と顔を見合わせながら楽しそうに一緒に走る姿が3歳児らしくてとても可愛いです。「おさかなマンボ」の踊りは、それぞれお魚になって踊りますので、本番に向けての練習というよりも、運動会の日もここで一緒に踊ろうねと、安心して楽しめるようにしていくことを大切にしています。



数年前に、スタートのところで立ったまま「はしらない！」と、動かない子がいました。担任たちが「一緒に走ろうか？」とあの手この手で誘いかけても全く走らない様子。それを見ていた兄弟学級のお相手さんの年長組のWちゃんが、自分の席から走ってきてその子の顔を覗き込み、手をつないだ瞬間、一緒に走り出したことがありました。「私が行かなきゃ」と走ってきてくれた年長組のWちゃんの判断力や、いつも遊んでくれている兄弟学級の年長組さんとの信頼関係に感動した出来事でした。その日の状況や気分で、走りたくないこともあるかもしれませんが、当日どうなるかわからないのが3歳児です。どうか温かく見守ってください。

年中組は、友達と共に力を合わせることを楽しみます。「パラバルーン」は、クラスみんなでタイミングや力を合わせることで、大きなお山や風船を作ることができます。大きなお山や風船は大人が見ても迫力満点で、子どもたちは「いっせいの〜で〜」で力を合わせて膨らますことをとても楽しんでいきます。はじけるように張り切って踊ったり勢いよくパラバルーンを膨らます子どもたちの様子をご覧ください。「かついではしてっ…」も一人ではできないことを友達と速度やタイミングを合わせて走ることを経験します。しかし、自分の予想したと違う事がふと起きた時に、戸惑ったり、葛藤するようなこともあります。普段でしたら、ゆっくり気持ちを立て直す時間がありますが、運動会はそういうわけにはいかないのです。当日はどんな姿が見られるかはわかりません。ただ、当日の姿は一



場面にすぎず、今までの練習の過程での友達や担任たちとのやり取りの中で、自己調整の力が伸びていることは確かですので、温かく見守ってくださいね。

年長組は、開会式の運営や、クラス対抗リレー、組体操など、責任のある役割が多く、自分たちで役割を話し合って決め、自分たちで運動会を開催していくという気持ちが高まっています。開会や入場のアナウンス、プラカードでの誘導、国旗園旗を掲げる係、準備運動の係りなどをこなしますが、張り切って役割を果たす姿は自信に溢れています。



クラス対抗リレーは勝ち負けという厳しい現実を突きつけられますが、クラスのみなが一人もかけることなく力を合わせてバトンを繋ぐことが大切です。子どもたちはクラスみんなの力で勝つために、走順を工夫したり、秘密特訓をしたり、頭を突き合わせて作戦を立ててきました。真剣に走り切り、バトンを次の子に託す子どもたちの姿は感動を呼びます。

組体操のクライマックスのスペシャルは、各クラスでオリンピックの聖火台にちなんだ「炎」を表現しますが、その炎の動きを研究するにあたって、オリンピックの聖火の映像を見たり、実際に中庭で焚火をしたり、ろうそくに火をつけて大きくなっていく炎の様子、風が吹いた時の揺れる様子、小さくなって消えていく様子を観察して話し合っていました。細かい動きに反応してそれを言葉で表現する年長組の観察力と表現力に驚かされます。形の変化するものを体で表現するのは非常に高度で難しいことですが、子どもたちは柔軟なイメージ力によって見事に炎のストーリーを表現していきます。そして同時に分析力、想像力、協働性、豊かな感性が育っていくのを感じます。

一人一人が表現できてもクラスみんなで表現した時にどのように見えるのかを想像するのは難しいことです。先日れんげ組の部屋をのぞいた時の話です。スペシャルの最後で炎が消えていくところを表現していましたが、「火は水がかかったら一気に消えるから一気に消える動きにした方がいい。」という意見が出て、「ゆっくり消えていく方がいい。」という意見と分かれていました。そこで、かな先生はみんなでその「一気に消える」表現と「ゆっくり消えていく」表現の両方の表現をしてみて、それを撮った動画をプロジェクターで壁に写して、見え方の違いを検証していました。結果がどちらになったかは、当日見てのお楽しみです。このように、丁寧にみんなで作りに上げていくスペシャルの表現を、年長組の保護者の皆様も、各クラスの炎のストーリーを想像しながらご覧ください。



以上のように運動会の取り組みのプロセスで、それぞれの年齢の育ちがたっぷりみられましたが、これが今後の活動につながっていくこととなります。そういった意味でも運動会は大切な行事です。当日のお天気が心配ですが、雨が降らないことを祈りつつ、ここまでの「育ちの物語」を想像しながらご覧くださいね。